

新年号

酪農

とちぎ



- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 組合長挨拶
- 3 ページ 栃木県知事挨拶
- 4 ページ 青年部部长、女性会会长挨拶
- 5 ページ 東西南北（各支所）
- 6 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 7～8 ページ 部課だより（業務部）
- 8 ページ お知らせ、理事会だより、市場成績

2016 HAPPY NEW YEAR



MILK JAPAN



新年の挨拶

酪農とちぎ農業協同組合

代表理事組合長 坂主 正



新年明けましておめでとございます。
います。

組合員の皆様におかれましては、
輝かしい新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

日頃より、幣組合事業に特段の
ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

昨今の日本を取り巻く環境は、
中東ではアルカイダ・IS等のテ
ロリスト集団が混乱を引き起こし、
それが引き金となり欧州において
テロが続発しアジアにおいても中
国が世界第2位となった経済力を

背景に海洋進出を強力に進めるな
ど、地球規模で慌しく混沌とした
中にありました。

一方、組合においても異常気象
が続く中、9月に県中部地域に降っ
た大雨によりこれまででは考えら
れないような洪水被害が発生し、
残念な事に組合員一戸が酪農に追
い込まれてしまいました。

しかしながら、酪農においては
4月からの乳価3円弱の値上げが
実現したことで、まだまだ飼料高
は続いておりますが、少しは息が
つけ、スモールや廃用牛の酪農副
産物価格、和牛子牛価格も堅調に
推移したことも下支えとなり実感
として感じてきたと思います。

そのような中、10月には日本を
含む環太平洋地域の12カ国による
「TPP交渉」が大筋合意されま
した。大筋合意の内容を見ると、

直ちにはないまでも、今後にお
いて大きな影響が生じることが懸
念される内容が盛り込まれており、
組合員の皆様も大変心配している
ことと思いますが、国においては
責任を持ってこの対策に当たるべ
く、全閣僚を構成員とした「TPP
総合対策本部」を設置し万全な国
内対策を策定することが表明され
ております。我々組合としても、
このピンチをチャンスに変えるべ
く役員一体となり対処していく
とともに、国や県に対しても国内
酪農が持続的に経営できるよう強
く要請していきたいと思えます。

ところで、私たちの組合も発足
以来15年目を迎え、これまで発現
してきた合併効果をより確かなも
のとしていくことが求められてお
ります。平成27年度からの第4期
中期構想で打ち出した「持続的成
長を可能とする生乳生産基盤の構
築を図る。」ことにより、組合員
の皆様の組合満足度が向上するよ
う着実に進めて参ります。本年は
緊急酪農生産基盤拡充対策として
不需要期乳価期間（12月～3月の

4カ月間）に出荷乳量に対し5円
／kgを措置することとしました。
今後も引き続き中長期を見越した
なかで、組合員目線に立ち組合運
営にあたって参ります。

また、国においては農協法改正
という農政の大きな転換が成され
ました。組合としても関係団体と
連携の下、組合員の所得確保に向
け対処して参ります。

今後とも組合員の皆様のご理解
ご協力、そして、行政・関係諸団
体のご指導を賜りながら、より一
層の発展に向け役員一体となり
取り組んで参ります。

結びに、組合員の皆様のご健勝
とご多幸を祈念申し上げ新年のご
挨拶と致します。



新年知事あいさつ

栃木県知事 福田 富一



酪農とちぎ農業協同組合の組合員、役職員の皆様、あけましておめでとうございます。

私は、就任以来、県民中心、市町村重視の県政を進めて参りました。引き続き、現場主義を徹底し、前例にとらわれることなく、新たな視点や柔軟な発想を持って、県政の推進に努めて参ります。

昨年は、数十年に一度という記録的な豪雨となった平成27年9月関東・東北豪雨により、尊い人命が失われたほか、住宅をはじめ、河川・道路等の公共施設、農作物等に多大な被害が発生しました。

引き続き一日も早い被災地の復旧に全力で取り組むとともに、今回の災害の教訓を今後の防災・減災対策に生かし、災害に強いとちぎづくりを進めて参ります。

さて、現在、我が国は急速な少子高齢化の進行と人口減少という、かつて経験したことのない大きな課題に直面しており、国と地方が一体となって、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり地域の活力を維持していくため、中長期的な視点に立ちながら実効性のある取組を進めていくことが急務となっています。

このため、県では、まち・ひと・しごと創生に向け、昨年10月に「とちぎ創生1.5戦略」を策定いたしました。「とちぎに安定したしごとをつくる」、「とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる」など4つの基本目標を設定

し、目標達成に向けた15の戦略により、とちぎの未来創生に果敢にチャレンジして参ります。

また、栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」に続く、平成28年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ元気発信プラン（仮称）」の策定を進めております。

プランに掲げる本県の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な『とちぎ』」の実現に向け、「次代を拓く人づくり戦略」など5つの重点戦略により、女性の活躍推進や成長産業へ進化する農業の確立など、とちぎを元気にする取組を積極的に推進していくこととしております。

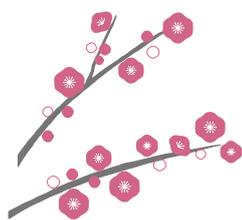
農業分野では、TPP協定が大筋合意となり、関税引下げ等による影響が懸念される結果となりましたが、今後も国の動向等を注視しながら、皆様の不安を払拭し、本県農業が成長していくことができるよう適切に対応して参ります。

特に、畜産・酪農につきましては、現在策定中の次期農業振興計画において、今後重点的に取り組

むリーダーイング・プロジェクトのひとつに「国際化に対応した水田・畜産経営の確立」として位置付けたところであり、収益性の高い畜産経営の確立に向け、各種施策を積極的に推進していく考えであります。

本年は、新たなプラン等をスタートさせる重要な年であります。私は、皆様とともに、誰もが未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持つとちぎづくりに全力を傾注する決意でありますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が酪農とちぎ農業協同組合の皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



新年の挨拶

青年部部长 小針 勤



新年明けましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては、益々ご
活躍の事とお慶び申し上げます。
部員の皆様、組合役職員の皆様は
は青年部活動に対し、格別のご協
力とご指導を賜り、誌面を拝借し
厚く御礼を申し上げます。

さて、平成27年は、非常に充実
した一年であったと思います。恒
例のポウリングから始まり、北海
道の菊地実先生を招いた「牛から
学ぶ酪農経営の勘所」講習会の開
催、ソフトボール大会を通して部
員間の交流。10月に、10年ぶりに
北海道で開催された全日本共進会
では、部員の出品や参加が多数有
りました。共進会や関連イベント

では酪農家同士の交流、北海道の
出品牛のレベルの高さ、最新の酪
農技術を視察する事が出来ました。
黒磯支部、塩谷支部、那須南支部
の3支部で小学生、幼稚園児を対
象に開催された搾乳体験では、多
くの部員の皆さんの協力を頂きな
がらスムーズに実施する事が出来
ました。

昨年、10月にTPP交渉が大筋
合意されました。私達酪農家にとっ
て今後より厳しい状況が予想され
ます。そこで、将来の酪農経営者
である部員たちの管理技術（牛群
管理、繁殖、エサ、乳房炎対策、
暑熱対策など）を磨く場を2月に
「青年部・ネルデイスカッション」
として開催致します。各支所を代
表する部員に、自らの酪農経営の
取り組みを発表して頂き、意見交
換等を通してレベルアップにつな
がれたいと考えています。日々の酪
農作業の中、忙しいかと存じます
が、是非時間を作って頂きより多
くの部員のご参加、ご協力をよろ
しくお願い致します。

最後になりましたが、本誌読者
の皆様の益々のご発展とご多幸を
ご祈念申し上げます、新年のご挨拶と
いたします。

新年の挨拶

女性会会長 越井 幸子



新年あけましておめでとうござ
います。皆様におかれましては、
健やかに新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。また、組合役
職員並びに組合員の皆様には女性
会活動に対しまして、日頃より格
別のご指導、ご協力を賜り厚くお
礼申し上げます。さて、今年度の

女性会活動統一テーマは消費者が
安心安全を強く求めていることか
ら、生産履歴をきちんと残してお
くことが重要であると考え、厳し
い酪農情勢であります。経営に
前向きに取り組む、この状況を乗
り越えて行こうと、役員一同の意
見で昨年同様の統一テーマに決定
し、組合員に配布させていただき
ました。酪農家においては様々な

問題を抱えている状況もあります
が、各種イベント会場で、牛乳の
試飲等を行い、一般消費者への理
解を求める活動も行いました。ま
た、支部単位の活動が主で、会員
が一堂に会する機会がない中、12
月には高根沢町元気あつぷむらに
於いて、会員多数の参加を得て全
体研修会を開催いたしました。演
題は「酪農家から教えられたこと」
と題し、講師に酪農とちぎ農業協
同組合の技術顧問であります、齊
藤達夫氏にご講演いただきました。
「酪農家の牛の飼い方しだいで良
い牛にも悪い牛にもなる。牛を大
切にすることが酪農家の原点であ
る」と話されたことに改めて日頃
の管理の大切さを感じました。会
員は経験豊富な顧問の話に、真
剣に聞き入りながらも笑顔も見ら
れ充実した研修会となりました。
是非、日々の仕事に役立て、経営
向上に繋がれば幸いです。本年も
女性会は、有意義な活動をして参
りますので、皆様のご協力を賜り
ますよう宜しくお願いいたします。
最後になりましたが、皆様の益々
のご発展とご多幸をご祈念申し上
げ新年のご挨拶いたします。



部課だより

生乳販売課

平成27年11月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し10.4%増の1万8,908tと、4ヶ月連続し前年を上回る堅調な生産状況です。また、累計の受入乳量は、那須高原支所10万1,846t(前年比109.9%)、宇都宮支所2万5,166t(前年比98.3%)、県南支所3万4,847t(前年比101.3%)、合計で15万7,209t(前年比106.6%)となり、那須高原支所・県南支所の生産量が前年を上回りました。が、宇都宮支所においては、前年を下回る状況が続いております。出荷者数は、前年同月より15戸減の461戸(内、学校は2校)でした。また、11月度及び年平均乳質は、脂肪率については9月から前年を上回る状況、無脂固形分率については夏期に前年を上回っています。現在、今年を上げていきます。細胞数は今年1月から前年を上回っています。尚、11月の累計不合格件数は858件となり、前年(610件)を大きく上回りました。24年並みの発生件数となりました。関東生乳販連の11月総受託乳量は、前年比99.9%(約63t減少)、累計では100.6%(約4189t増)の状況です。11月の販売量は、前年同月より1.1%増の5.12%と前年を上回り、加工率は5.22%と前年同月より0.45%増の5.67%となりました。

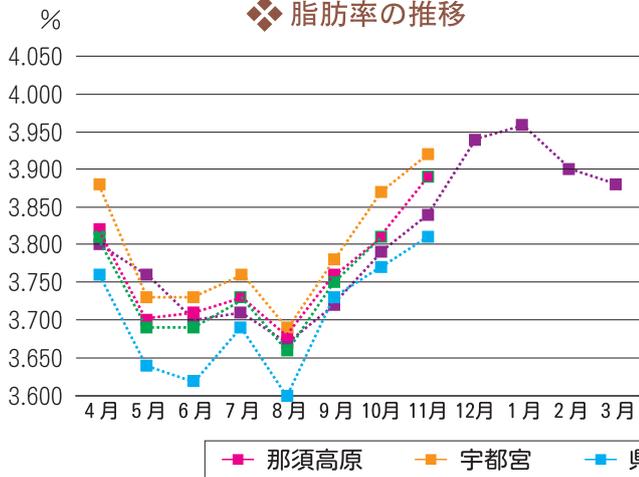
関東生乳販連用途別販売数量

(単位: kg・%)

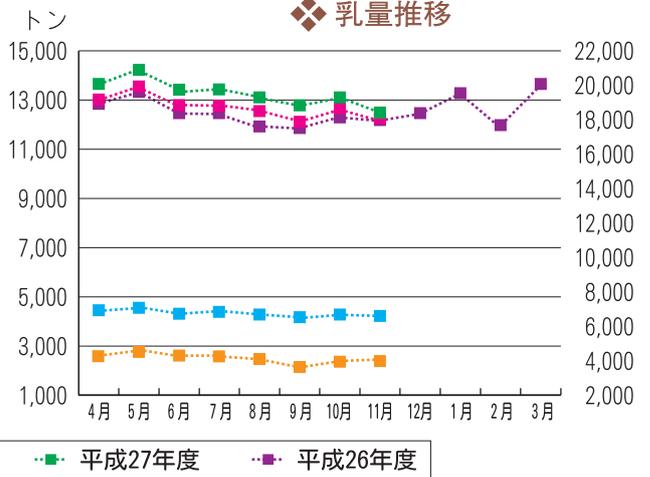
用途	11月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	69,091,083	68,343,918	101.1	563,035,195	551,988,625	102.0
(うち学校向け)	11,999,844	11,364,902	105.6	81,096,955	80,779,847	100.4
はっ酵乳向け	12,633,744	12,773,656	98.9	104,007,057	106,685,779	97.5
特定乳製品向け(加工)	4,590,089	5,052,199	90.9	56,764,358	60,417,528	94.0
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,620,365	1,829,212	88.6	13,862,612	14,442,424	96.0
チーズ向け	61,758	60,556	102.0	528,946	474,696	111.4
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	87,997,039	88,059,541	99.9	738,198,168	734,009,052	100.6
加工比率	5.22	5.74	-	7.69	8.23	-

前年を下回る値です。11月迄の累計値については、飲用向けが102.0%と前年を上回り、加工率は7.69%と前年を下回ります。また、11月全国の生産量は前年を上回りました。主に北海道(102.0%)、関東(101.1%)、中部(100.2%)、近畿(100.0%)、北陸(99.9%)、中国(99.9%)、四国(99.9%)、九州(99.9%)の状況が続いています。尚、平成27年11月の生産量は、前年同月より10.4%増の1万8,908tと、4ヶ月連続し前年を上回る堅調な生産状況です。また、累計の受入乳量は、那須高原支所10万1,846t(前年比109.9%)、宇都宮支所2万5,166t(前年比98.3%)、県南支所3万4,847t(前年比101.3%)、合計で15万7,209t(前年比106.6%)となり、那須高原支所・県南支所の生産量が前年を上回りました。が、宇都宮支所においては、前年を下回る状況が続いております。出荷者数は、前年同月より15戸減の461戸(内、学校は2校)でした。また、11月度及び年平均乳質は、脂肪率については9月から前年を上回る状況、無脂固形分率については夏期に前年を上回っています。現在、今年を上げていきます。細胞数は今年1月から前年を上回っています。尚、11月の累計不合格件数は858件となり、前年(610件)を大きく上回りました。24年並みの発生件数となりました。関東生乳販連の11月総受託乳量は、前年比99.9%(約63t減少)、累計では100.6%(約4189t増)の状況です。11月の販売量は、前年同月より1.1%増の5.12%と前年を上回り、加工率は5.22%と前年同月より0.45%増の5.67%となりました。

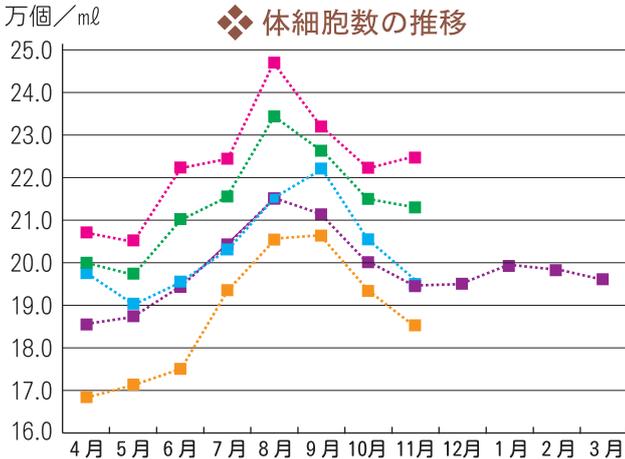
◆ 脂肪率の推移



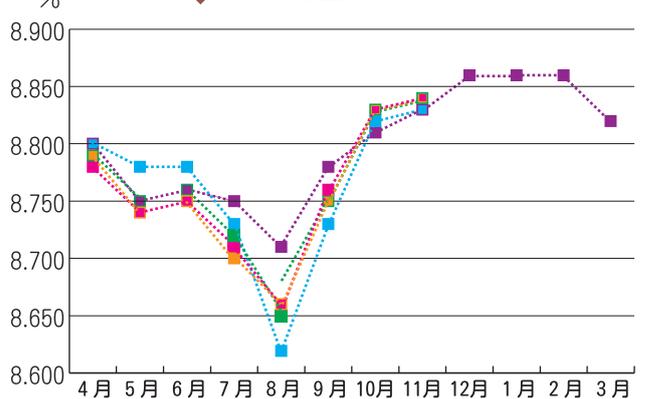
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



業務部

『女性会全体研修会』開催

12月1日、高根沢町元気あつぷむらに於いて、酪農とちぎ女性会（越井幸子会長）98名の参加のもと、全体研修会が盛会に開催されました。

今回は、本組合の齊藤顧問を講師にお招きし、「酪農家から教えられたこと」と題し、講演を頂きました。

講演では、長年の教育現場や豊富な酪農生産現場の経験を通した中から、酪農へ取り組む姿勢の大切さを強くお話されました。それは「牛を大切にすること」ということです。現在、素晴らしい経営者に



研修会風景



講師 齊藤 達夫 氏

なっている教え子たちは、みんな牛を大切にしているそうです。

会社で例えると、牛は酪農会社の社員であり、社員を大切に扱わなければそれはブラック企業であり、経営は成り立たなくなりますが、齊藤顧問からは、酪農家キーニイの牛飼哲学として、次の言葉を紹介されました。

私たちはあなたの乳牛です
私たちがあなたの
くださるものを食べ、
飲ましてくださるものを飲み
住まわせてくださることに
住みます
よい牛にもなれば
悪い牛にもなりません
丈夫にもなれば弱くもなり
気持よく暮らすこともできれば
不愉快にもなりません
このように私たちの運命は
酪農家まかせなのです

清潔で乾燥した快適な牛舎で、食べて飲んで寝ることが、よい牛を作ることになるということです。これらカウコンフォートの大切さを話されました。また、「家庭では旦那さんも大切に」と話されると会場から笑いが出る場面もあり、和やかな中にも酪農経営に役立つ、大変有意義な講演でありました。

講演会終了後は、地場野菜を使ったお弁当で昼食を取りながらの会食となり、会員同士が和やかなひと時を過ごされ、散会となりました。

『乳牛展示販売会』開催

11月27日、ふれあい牧場に於いて本組合の乳牛展示販売会を2年連続で開催しました。

今回の販売会では、北海道産初妊牛15頭、自家産初妊牛12頭が出場し、合計27頭の出品となりました。北海道産初妊牛は前回に引き続き、全国酪農業協同組合連合会にご協力を頂くと共に、自家産初妊牛については、組合員の皆様の愛情をたっぷり注がれた「愛牛」が会場に並びました。

出品牛の交配種雄牛は、昨今の市場相場の堅調さを受けてF1腹26頭、ホル種雌雄判別精液腹1頭となりました。



乳牛展示販売風景

当日は、午後1時より販売会を開始し、来場者は本牛の確認や出品牛名簿による成績等を考慮し選畜されました。

今回の決定方法は、事前に購買を希望された方を優先に1頭ずつ決定し、複数名の希望者がいた際は抽選により決定しました。最終的には事前申込者と当日参加者により、27頭全頭が購買成立しました。

最後に、「展示販売」は自分の目で見て選べる利点があり、購入者それぞれの視点や想いを基に、購入ができたことと推察いたします。



婚活

SDDFにて

ドライブデート実施

快晴の11月29日、青年部DDF（独身者の会）の活動として、男女5名の参加により、那須塩原从那須方面へのドライブデートを行いました。当日は、2台の車で席替えをしながら、参加者全員が会話を楽しみました。塩原のみじ谷大吊橋見学や那須でのランチ、そしてマニワファームでは牧場風景を見ながらのトークタイム。最初は固まっていた行動でしたが、少しずつ小さいグループに自然と分かれ、会話する風景がありました。

のんびりとした時間の中で、共通の話題で盛り上がるなど、参加者それぞれが楽しい時間を過ごす事ができました。参加された男性はもとより、女性からも今回のドライブデートは、とても楽しかったと言っていました。全日程の終了後には、それぞれ連絡先の交換を行い散会となりました。

今後も継続的に婚活活動を実施し、結婚に繋がるイベントを計画していきたいと思えます。



お知らせ

農事功績者に永山優子さん

表彰される！

那須町千振の永山優子さん（那須高原支所組合員、永山淳氏）が公益社団法人大日本農会の平成27年度農事功績者『緑白綬有功章』を受章致しました。

緑白綬有功章は、農事改良の奨励又は実行に功績のあった方々を大日本農会総裁秋篠宮文仁の御名をもって表彰するもので、栃木県からは、2名の内の1人と大変名誉な受章となりました。

受章された永山優子さんには、お祝い申し上げるとともに、今後とも更なるご活躍をお祈り申し上げます。

表彰事由（畜産部門）

1. 牛群改良に意欲的に取り組むとともに、機械化による省力化を



永山圭吾さん・優子さんご夫妻

図り、牧草作付を拡大して飼料自給率を向上させた結果、低コスト、高品質でゆとりある高収益経営を実現。

2. 農業者と観光業者等を組織化して代表を務め、農村レストランを拠点として「那須」ブランドの向上及び地域活性化に尽力。家族経営協定を先駆けて締結し、研修会等の講師を務めるなど男女共同参画の推進に貢献。

理事会だより

11月度理事会（11月30日）

報告事項

- (一) 業務経過報告について
 - (二) 組合資金貸付について
 - (三) 組合プール乳価について
 - (四) 第7回理事会資料の訂正について
 - (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
 - (六) 関東生乳販連情報について
- 協議事項
- (一) 10月度事業実績について
 - (二) 市乳事業における損害賠償金請求への対応について
 - (三) 平成28年乳代送金日の設定及び対応について
 - (四) マイナンバー制度に関する規程等の設定について
 - (五) 年末手当の支給について

11月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率(%)	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	11月4日	522	429	82.2	616	70	61	749
南北海道	11月6日	120	107	89.2	540	6	6	661
釧路	11月11日	247	184	74.5	561	2	1	746
根室	11月12日	461	359	77.9	590	28	24	725
豊富	11月13日	367	245	66.8	574	6	5	726
十勝	11月25日	669	611	91.3	634	88	77	743
根室	11月26日	229	200	87.3	604	9	9	762
合計		433	384	88.7	608	4	3	672
前月		3,048	2,519	82.6	603	213	186	739
前年同月		2,409	2,093	86.9	602	231	180	735

初妊牛の今後の動向は、3～4月分娩が中心となります。価格については、前号での既報の通り道内外の大型牧場による導入が引き続き行われている事、乳価値上げ・肉相場が堅調なことを受けての自己保留が増えている事、春分娩中心で需要が高くなる事から今後も高値で推移するものと予想されます。導入を希望される方は分娩腹の条件、価格等に十分余裕をもってお申し込み下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。

11月度 県内家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
	F 1 雄	136	135	43	346,680	16,200	252,056	288
	F 1 雌	108	107	57	274,320	43,200	175,444	▲3,885
館林	ホルス雄	0	0	0	0	0	0	0
	F 1 雄	21	21	96	354,240	176,040	299,314	▲6,806
	F 1 雌	17	17	95	273,240	174,960	243,953	1,020

素牛相場や枝肉相場等の動向で価格も影響しますが、今回の初生牛の取引価格は前回から比較し、低値相場で推移しています。しかしながら下げ幅は限定的であり那須市場では月初めと比較すると値上がりしている事から、今後も高値安定で推移すると思われます。

